

※A I C A Nプロジェクトは、内閣府のS I P（戦略的イノベーション創造プログラム）の一環として実施されています。

自ら学び高め合い 学びをよりよい生き方に生かそうとする子 の育成

京都市立高倉小学校

研究発表会（二次案内）

日 時

令和8年 2月6日（金）

13:50～17:00（13:20受付開始）

時 程

13:50		14:35 14:45		15:45 16:00		17:00
受付	公開授業	移動	指導助言 研究協議 研究報告	分科会	移動	シンポジウム 全体会

公開

授業

低学年部会 1年2組 大森美菜 体育科「リレーあそび」

⇒みんなが「楽しく・速く」走るための作戦を考えて大会を開きます。

中学年部会 3年3組 高橋真歩 社会科「事けんや事こからみんなの命を守る」

⇒安全について考え、高倉の町にぴったりの「公共サイン」をデザインします。

高学年部会 5年1組 藤原光利 国語科「たがいの立場を明確にして話し合おう」

⇒高倉小学校のみんながよりよい学校生活を送るために、校舎内最高学年として最後にできることは何かを考えてみんなで話し合います。

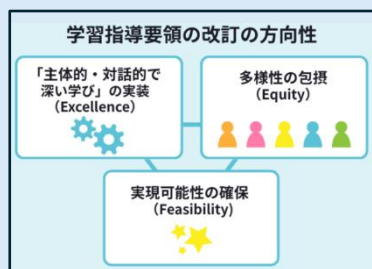


教科領域の学習内容の着実な定着を基本としながら、「自ら学び高め合い 学びをよりよい生き方に生かそうとする子 の育成」という目標を達成するために、「逆向き設計」論にもとづくパフォーマンス課題の考え方を取り入れて、「日常生活や社会とのつながり」「永続的理解」「明確なシナリオと多様な表現」を意識して、単元設計を行います。

全体会

シンポジウム

「学習指導要領改訂の方向性とパフォーマンス課題」



京都大学大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵 先生

京都大学大学院教育学研究科 教授 松下 佳代 先生

京都大学大学院教育学研究科 准教授 奥村 好美 先生

2027年告示を目指して、「学習指導要領」次期改訂に向けた議論が進んでいます。社会の変化（情報化、AIの進化など）に対してどのように対応していくべきなのでしょうか。そして、これからの学校教育において「パフォーマンス課題」はどのような役割を果たしていくのでしょうか。シンポジウムを通して、参加された皆様と共に考えていきたいと思ひます。また、本校が研究協力をしている「AICANプロジェクト」についてもご紹介していただきます。

申込

※資料代1000円(学生・京都市立学校からの参加者は無料)

申込期限 令和8年2月2日(月)



〒604-8116 京都市中京区高倉通六角下る和久屋町 343 TEL (075) 211-8784 FAX (075) 211-8785

本校HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/takakura-s/>